

防災隊の災害に備えての活動

活動前ミーティング



機器点検



防災備品



EV降下



救出



AED講習



非難



簡易式トイレ

組み立て



担架搬送



地域防災拠点について

震災により建物が倒壊、あるいは危険のあるときに一時的に避難生活を送る場所です。
深谷町・俣野町の震災時避難場所は「俣野小学校」です。

防災備蓄庫には、救護用品、生活用品、食料・水（仮設組み立て初期トイレ）（ろ水機）（紙おむつ）（乾パン）（粉ミルク）（お粥）（水缶詰）（生理用品）（トイレットペーパー）（移動式炊飯器）等の備蓄品が用意されていますが避難生活維持にはまだまだ不足気味です。

地域医療救護拠点について

大震災時、家屋の建物の倒壊により負傷者が発生したとき、発災から3日間程度応急医療を行う救護場所です。

深谷町・俣野町の救護場所は深谷中学校です。

重傷者等さらに医療が必要なときは救急車で他の医療機関へ搬送されます。

お知らせ

- 8/31（日） 横浜市総合防災訓練
日立製作所（吉田町292、東戸塚小学校そば）
- 「救助救出
秋季防災訓練 訓練」午前10:30～11:30
見学場所設置（当日直接会場へ）他2箇所
- 9/1（月）神奈川県防災訓練
横須賀新港
10/26（日） 県ドリームハイツ10:00～

熱中症予防とその対策

熱中症は予防が大切です

1. 屋外に出るときは帽子をかぶる・日傘をさしましょう
2. 水分をこまめに摂取
3. 日陰を利用する

体の異常発生を感じたら

- ・まずは涼しい場所へ
- ・衣服（類）をゆるめる
- ・体などに水をかけたり、濡れタオルをあてて扇ぐe t c…

たくさん汗をかいたら塩分の補給も忘れずに！！ 湿度が高いとき、風がないときは要注意です！！

熱中症を引き起こす条件

- ・ 気温が高い
- ・ 湿度が高い

激しい労働や運動 又は室内での通常行動によっても体内に著しい熱が産生される

暑い環境に体が充分に対応できていない

どのような人がなりやすいか

- ・ 高齢者
- ・ 脱水症状のある人
- ・ 普段から運動をしていない人
- ・ 肥満の人
- ・ 暑さに慣れていない人
- ・ 過度の着衣
- ・ 病気の人、体調の悪い人

温度と注意すべき生活活動の目安

温度基準	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃～)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者は安静状態でも危険性が大きい。外室は避け 涼しい室内に移動する
厳重警戒 (28～31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する
警戒 (25～28℃)	中等度の生活活動でおこる危険性	通勤や激しい作業をする際には定期的に十分休息を取り入れる
注意 (～25℃)	強い生活活動でおこる危険性	一般的に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある